

水・大気環境連携セミナー2024

ー地域環境モニタリングの真髄に迫るー

水・大気環境の両分野に関わる研究機関間の連携促進を図ると共に、地域環境研究の今後のあり方に関する議論を深める場として、水環境・大気環境両学会の連携セミナーを開催いたします。今回のセミナーでは両分野に共通するテーマとして環境モニタリングを選定しました。さらに、瀬戸内海における広域連携、温室効果ガスであるメタン生成、先端的モニタリング手法をキーワードとして、水環境・大気環境の両分野からご講演いただきます。

主催：日本水環境学会、大気環境学会
共催：全国環境研協議会、東京都環境科学研究所、埼玉県環境科学国際センター
後援：環境省
期日：2024年12月11日（水）13：30～16：45
場所：自動車会館およびオンライン（ハイブリッド形式）
定員：現地100名程度、オンライン最大300名程度
参加費：無料
申込方法：<https://jswe-local.org/seminar.html> からオンライン申し込み
問い合わせ：埼玉県環境科学国際センター 見島 0480-73-8353
東京都環境科学研究所 上野 03-3699-1341

プログラム

- <開会挨拶> 池 道彦（大阪大学）
- <特別講演> 水・大気環境行政におけるモニタリング結果の利活用（仮）
鈴木清彦（環境省）
- <基調講演> 地域環境モニタリングのMVV
大原利眞（アジア大気汚染研究センター）
- <研究発表> 広域連携による瀬戸内海の水質モニタリングと有機汚濁指標の開発
西嶋 渉（広島大学）
地方環境研究所間の連携観測による瀬戸内海地域のPM_{2.5}濃度上昇要因の解明
浅川大地（大阪市立環境科学研究所）
河川における内部メタン負荷の見積もり
土屋健司（国立環境研究所）
車載観測から見えた日本の二大都市圏（東京・大阪）のメタン放出源の特性
梅澤 拓（国立環境研究所）
水中微生物のモニタリングの新提案
佐藤 久（北海道大学）
生物エアロゾルのモニタリングとその課題
田中大祐（富山大学）
- <閉会挨拶> 今村隆史（東京都環境科学研究所）